



令和2年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年5月8日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
 コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 田中 直子

TEL 03-6757-4584

四半期報告書提出予定日 令和2年5月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年12月期第1四半期の連結業績(令和2年1月1日～令和2年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年12月期第1四半期	17,027	3.5	62	△72.5	47	△78.1	△58	—
元年12月期第1四半期	16,459	△6.8	227	4.0	215	1.1	120	20.3

(注)包括利益 2年12月期第1四半期 △133百万円 (—%) 元年12月期第1四半期 64百万円 (△10.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年12月期第1四半期	△0.98	—
元年12月期第1四半期	2.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年12月期第1四半期	49,646	21,026	38.2
元年12月期	52,568	21,840	37.6

(参考)自己資本 2年12月期第1四半期 18,969百万円 元年12月期 19,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年12月期	—	—	—	7.00	7.00
2年12月期	—	—	—	—	—
2年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年12月期の連結業績予想(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	0.7	1,400	△20.1	1,400	△19.8	600	△45.7	9.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年12月期1Q	65,586,196 株	元年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	2年12月期1Q	5,990,260 株	元年12月期	5,345,949 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年12月期1Q	59,804,473 株	元年12月期1Q	60,430,545 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

○第1四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年10月の消費増税に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛による個人消費の大幅な冷え込み、世界的な経済活動の停滞による輸出入の急減、先行き不透明感の強まりによる設備投資の抑制により、急激な落ち込みが避けられない状況になっております。

このような経営環境の下、当社グループは、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、中長期戦略「長期ビジョン100」の実現に向けた「中期経営計画2023」で掲げた、重要課題である5本の柱を軸とした取組みを引き続き進めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、17,027百万円（前年同期比3.5%増）となりました。しかしながら、利益面では、減価償却費を含む固定費の増加や酵素医薬品事業での競争激化に伴い、営業利益は62百万円（前年同期比72.5%減）、経常利益は47百万円（前年同期比78.1%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は58百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益120百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年3月31日) (百万円)	前年同期比 (%)
酒類	和酒部門		
	焼酎	8,309	99.5
	チューハイ	1,891	125.4
	清酒	850	87.5
	合成清酒	466	84.6
	販売用アルコール	2,458	159.6
	みりん	170	98.1
		14,145	108.0
	洋酒部門	855	82.4
	その他の部門	127	86.0
		15,127	105.9
加工用澱粉		879	93.7
酵素医薬品		905	78.9
不動産		97	116.8
その他		16	417.7
	合 計	17,027	103.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

【酒類事業】

酒類事業におきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。また、消費増税に伴う消費者の生活防衛意識の高まりや根強い節約志向などにより、取り巻く環境がさらに悪化しております。飲用シーン別においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、飲食店向けの焼酎、清酒等が減少する一方、巣ごもり需要の高まりにより、チューハイなどのRTD分野が拡大しております。このような環境の下、新商品の拡充等を行った結果、売上高は15,127百万円(前年同期比5.9%増)となりました。しかしながら、利益面につきましましては、減価償却費を含む固定費の増加などもあり、260百万円の営業損失(前年同期は211百万円の営業損失)となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましましては、本格焼酎の「博多の華」シリーズ、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」シリーズが好調に推移したものの、PB商品の減少により売上高は減少いたしました。発売40周年を迎える「博多の華」シリーズでは、新たに「琥珀色の博多の華 麦 20%」をラインアップに加え、更なるファン獲得を目指しております。

チューハイなどのRTD分野につきましましては、「NIPPON PREMIUM」シリーズや「トーキョーハイボール」シリーズ、「直球勝負」シリーズ、PB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。「NIPPON

PREMIUM」シリーズでは、期間限定商品「神奈川県産八重桜のチューハイ」を発売したほか、日本らしさとプレミアム感をさらに演出すべく既存アイテムのラベルリニューアルを行い、日本各地のご当地素材を楽しめるブランドとして育成しております。また、「トーキョーハイボール」シリーズでは、飲みやすさをさらに訴求するため「トーキョーハイボール 梅風味」のリニューアルを行いました。

清酒につきましては、市場の低迷が続いておりますが、成長が見込まれる純米吟醸酒分野において、「富久娘 純米吟醸」を発売いたしました。また、「ワイングラスでおいしい日本酒アワード2020」において、秋田湯沢の地酒「おもてなし 純米大吟醸 金ラベル」が、栄えある金賞を受賞し、その高い品質が評価されました。

販売用アルコールにつきましては、昨年完了した清水工場のアルコール蒸留設備増強工事により増産体制が整い、販売活動を強化した結果、売上高が大きく増加いたしました。特に、調味料・消毒液等の原料に使用される工業用アルコールが好調に推移いたしました。

洋酒部門につきましては、「ウイスキー 香薫(こうくん)」が大変好調に推移いたしました。一部不採算分野からの撤退に伴うワインの減少により、売上高は減少いたしました。近年増加する“家飲み”ニーズに対しては、自宅で居酒屋のような本格的なチューハイを楽しめる、「酎ハイ専科 レモンサワーの素」を発売し、家庭での本格サワーづくりを提案しております。

その他、日経POSセレクションにおいて、合成清酒の「元禄美人」が合成清酒カテゴリーで「2019年売上No.1」を獲得いたしました。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業につきましては、シリアル食品用が増加したものの、菓子食品用や副産物が減少したため、売上高は879百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は37百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、海外向け酵素の競争激化や国内の生産支援ビジネスが減少したため、売上高は905百万円(前年同期比21.1%減)となりました。営業利益は240百万円(前年同期比30.3%減)となりました。

【不動産事業】

不動産事業につきましては、売上高は97百万円(前年同期比16.8%増)、営業利益は42百万円(前年同期比13.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、49,646百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,921百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、28,619百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,108百万円の減少となりました。これは主に仕入債務、未払酒税の減少によるものであります。

純資産につきましては、21,026百万円となり、前連結会計年度末と比較して813百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少および自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が世界的な広がりを見せている中、当社グループにおいては、酒類事業での料飲店向けが減少する一方、家飲み需要の高まりによる増加や販売用アルコールにおける消毒液等の原料用の増加が見込まれます。しかしながら、現時点では業績予想への影響を合理的に見積もることが困難であるため、令和2年2月7日に発表いたしました業績予想から変更は行っておりません。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和元年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197	861
受取手形及び売掛金	17,047	13,920
商品及び製品	5,860	6,590
仕掛品	178	239
原材料及び貯蔵品	1,187	800
その他	224	475
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	25,689	22,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,730	26,743
減価償却累計額	△19,682	△19,813
建物及び構築物(純額)	7,047	6,929
機械装置及び運搬具	36,003	35,989
減価償却累計額	△29,248	△29,356
機械装置及び運搬具(純額)	6,754	6,632
土地	9,673	9,673
建設仮勘定	24	271
その他	1,948	1,938
減価償却累計額	△1,817	△1,816
その他(純額)	131	121
有形固定資産合計	23,631	23,628
無形固定資産		
のれん	73	57
その他	333	295
無形固定資産合計	406	352
投資その他の資産		
投資有価証券	1,630	1,445
繰延税金資産	895	949
その他	319	392
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,840	2,782
固定資産合計	26,878	26,763
資産合計	52,568	49,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和元年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,868	4,095
電子記録債務	1,597	1,005
短期借入金	1,050	6,000
未払金	5,000	3,440
未払酒税	8,366	5,090
未払法人税等	167	78
賞与引当金	58	401
役員賞与引当金	37	9
株主優待引当金	15	15
設備関係支払手形	94	94
設備関係電子記録債務	1,676	978
その他	1,292	1,237
流動負債合計	24,226	22,447
固定負債		
長期借入金	1,500	1,125
長期預り金	3,376	3,380
繰延税金負債	182	160
役員株式給付引当金	54	60
退職給付に係る負債	1,179	1,244
資産除去債務	113	113
その他	94	86
固定負債合計	6,500	6,171
負債合計	30,727	28,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,598	5,598
利益剰余金	7,961	7,477
自己株式	△1,271	△1,514
株主資本合計	19,234	18,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	428	320
繰延ヘッジ損益	4	24
退職給付に係る調整累計額	114	114
その他の包括利益累計額合計	546	460
非支配株主持分	2,058	2,057
純資産合計	21,840	21,026
負債純資産合計	52,568	49,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至平成31年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和2年1月1日 至令和2年3月31日)
売上高	16,459	17,027
売上原価	13,368	14,158
売上総利益	3,090	2,869
販売費及び一般管理費	2,862	2,806
営業利益	227	62
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	6
受取賃貸料	19	19
雑収入	18	11
営業外収益合計	43	36
営業外費用		
支払利息	17	14
シンジケートローン手数料	20	1
為替差損	8	6
減価償却費	-	15
雑損失	9	15
営業外費用合計	55	52
経常利益	215	47
特別利益		
保険差益	1	-
保険解約返戻金	4	-
その他	-	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	62
投資有価証券評価損	-	30
その他	0	2
特別損失合計	5	96
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	217	△48
法人税等	76	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	140	△45
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	12
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	120	△58

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至平成31年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和2年1月1日 至令和2年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	140	△45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△108
繰延ヘッジ損益	1	20
退職給付に係る調整額	2	△0
その他の包括利益合計	△75	△88
四半期包括利益	64	△133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44	△144
非支配株主に係る四半期包括利益	19	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成31年1月1日至平成31年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	14,285	938	1,147	83	16,455	3	—	16,459
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	—	—	—	1	—	△1	—
計	14,286	938	1,147	83	16,456	3	△1	16,459
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△211	43	344	49	225	2	—	227

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自令和2年1月1日至令和2年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	15,127	879	905	97	17,010	16	—	17,027
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	—	—	—	0	—	△0	—
計	15,128	879	905	97	17,011	16	△0	17,027
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△260	37	240	42	59	2	—	62

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

令和2年12月期 第1四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

令和2年5月8日

1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成31年1月1日 至平成31年3月31日	自令和2年1月1日 至令和2年3月31日		
酒類事業	14,285	15,127	842	105.9
加工用澱粉事業	938	879	△ 59	93.7
酵素医薬品事業	1,147	905	△ 241	78.9
不動産事業その他	87	114	26	130.6
売上高	16,459	17,027	568	103.5
売上原価	13,368	14,158	789	105.9
売上総利益	3,090	2,869	△ 221	92.8
販売費及び一般管理費	2,862	2,806	△ 56	98.0
酒類事業	△ 211	△ 260	△ 49	-
加工用澱粉事業	43	37	△ 5	86.6
酵素医薬品事業	344	240	△ 104	69.7
不動産事業その他	51	45	△ 5	88.9
営業利益	227	62	△ 164	27.5
営業外収益	43	36	△ 7	83.8
営業外費用	55	52	△ 3	93.5
経常利益	215	47	△ 168	21.9
特別利益	6	0	△ 6	0.1
特別損失	5	96	90	-
税金等調整前四半期純利益	217	△ 48	△ 265	-
法人税等合計	76	△ 3	△ 80	-
四半期純利益	140	△ 45	△ 185	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	12	△ 6	65.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	120	△ 58	△ 179	-
1株当たり四半期純利益(円)	2.00	△ 0.98	△ 2.98	-

2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成31年 1月 1日 至平成31年 3月31日	自令和2年 1月 1日 至令和2年 3月31日		
焼酎	8,354	8,309	△ 45	99.5
（甲類焼酎）	(2,994)	(2,932)	(△ 61)	(97.9)
（乙類焼酎）	(5,359)	(5,376)	(16)	(100.3)
チューハイ	1,508	1,891	383	125.4
清酒	971	850	△ 121	87.5
合成清酒	551	466	△ 85	84.6
アルコール	1,540	2,458	917	159.6
みりん	173	170	△ 3	98.1
洋酒	1,038	855	△ 183	82.4
その他	148	127	△ 20	86.0
酒類計	14,285	15,127	842	105.9
加工用澱粉	938	879	△ 59	93.7
酵素医薬品	1,147	905	△ 241	78.9
不動産	83	97	14	116.8
その他	3	16	12	417.7
合計	16,459	17,027	568	103.5

3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	△ 49	売上高増加による総利益増+120 原材料コストの上昇による原価増△60 償却費など製造経費の増△150 人件費など販管費の減+20 製品構成の影響等+21
加工用澱粉事業	△ 5	売上高の減少
酵素医薬品事業	△ 104	売上高の減少
不動産事業その他	△ 5	
営業利益	△ 164	
営業外収益	△ 7	
営業外費用	3	
経常利益	△ 168	
特別利益	△ 6	
特別損失	△ 90	固定資産除却損、投資有価証券評価損の増
税金等調整前四半期純利益	△ 265	
法人税等	80	
四半期純利益	△ 185	
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 179	

4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 令和元年12月31日	当第1四半期 連結会計期間 令和2年3月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,197	861	△ 336	71.9	
受取手形及び売掛金	17,047	13,920	△ 3,127	81.7	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,226	7,630	404	105.6	
その他	224	475	251	211.8	
貸倒引当金	△ 6	△ 5	1	-	
流動資産合計	25,689	22,882	△ 2,807	89.1	
建物	5,170	5,063	△ 106	97.9	
土地	9,673	9,673	-	100.0	
その他	8,787	8,891	103	101.2	
有形固定資産計	23,631	23,628	△ 2	100.0	
無形固定資産	406	352	△ 53	86.7	
投資有価証券	1,630	1,445	△ 185	88.6	時価の下落
長期前払費用	125	140	14	111.6	
繰延税金資産	895	949	54	106.0	
その他	194	252	58	130.1	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,840	2,782	△ 58	97.9	
固定資産合計	26,878	26,763	△ 114	99.6	
資産合計	52,568	49,646	△ 2,921	94.4	

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 令和元年12月31日	当第1四半期 連結会計期間 令和2年3月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,466	5,100	△ 1,365	78.9	
短期借入金	1,050	6,000	4,950	571.4	
未払金	5,000	3,440	△ 1,559	68.8	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	8,366	5,090	△ 3,276	60.8	季節要因による売上高減
その他	3,343	2,815	△ 527	84.2	設備支払手形の減
流動負債合計	24,226	22,447	△ 1,779	92.7	
長期借入金	1,500	1,125	△ 375	75.0	
その他	5,000	5,046	46	100.9	
固定負債合計	6,500	6,171	△ 328	94.9	
負債合計	30,727	28,619	△ 2,108	93.1	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,598	5,598	-	100.0	
利益剰余金	7,961	7,477	△ 483	93.9	配当金の支払による減
自己株式	△ 1,271	△ 1,514	△ 242	-	自己株式の取得による減
株主資本合計	19,234	18,508	△ 726	96.2	
その他有価証券評価差額金	428	320	△ 107	75.0	
繰延ヘッジ損益	4	24	20	602.8	
退職給付に係る調整累計額	114	114	△ 0	99.8	
その他の包括利益累計額合計	546	460	△ 86	84.2	
非支配株主持分	2,058	2,057	△ 1	99.9	
純資産合計	21,840	21,026	△ 813	96.3	
負債純資産合計	52,568	49,646	△ 2,921	94.4	

自己資本比率(%)	37.6	38.2	0.6	
-----------	------	------	-----	--

5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 自 平成31年 1月 1日 至 令和元年12月31日	当連結会計年度 自 令和 2年 1月 1日 至 令和 2年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	67,357	67,810	453	100.7
加工用澱粉事業	3,708	3,720	12	100.3
酵素医薬品事業	3,986	4,063	77	101.9
不動産事業その他	391	405	13	103.4
売上高	75,444	76,000	555	100.7
売上原価	61,369	62,100	731	101.2
売上総利益	14,074	13,899	△ 175	98.8
販売費及び一般管理費	12,321	12,499	177	101.4
酒類事業	319	112	△ 207	35.3
加工用澱粉事業	136	45	△ 91	33.4
酵素医薬品事業	1,090	1,050	△ 39	96.3
不動産事業その他	205	190	△ 15	92.7
営業利益	1,752	1,400	△ 352	79.9
営業外損益	△ 7	0	7	-
経常利益	1,745	1,400	△ 345	80.2
特別損益	△ 179	△ 450	△ 270	-
税金等調整前当期純利益	1,566	950	△ 616	60.7
法人税等合計	391	296	△ 95	75.6
当期純利益	1,174	653	△ 520	55.7
非支配株主に帰属する当期純利益	70	53	△ 16	76.5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,104	600	△ 504	54.3

6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成31年 1月 1日 至 令和元年12月31日	自 令和 2年 1月 1日 至 令和 2年12月31日		
焼 酎	39,062	38,858	△ 204	99.5
(甲 類 焼 酎)	(14,308)	(14,100)	(△ 208)	(98.5)
(乙 類 焼 酎)	(24,753)	(24,757)	(4)	(100.0)
チ ュ ー ハ イ	8,640	8,844	204	102.4
清 酒	4,046	3,850	△ 196	95.2
合 成 清 酒	2,585	2,450	△ 135	94.8
ア ル コ ー ル	6,825	8,252	1,427	120.9
み り ん	851	856	5	100.6
洋 酒	4,726	4,089	△ 637	86.5
そ の 他	619	607	△ 11	98.1
酒 類 計	67,357	67,810	453	100.7
加 工 用 澱 粉	3,708	3,720	12	100.3
酵 素 医 薬 品	3,986	4,063	77	101.9
不 動 産	340	354	13	104.1
そ の 他	51	50	△ 0	98.9
合 計	75,444	76,000	555	100.7